

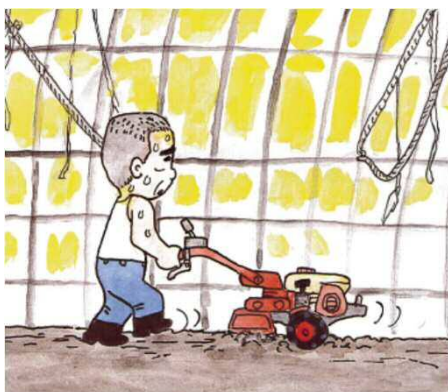
みんなで防ごう 農作業事故！

～安全な職場づくりに取り組もう～

事故防止に向け、「人(作業員)・物(道具)・環境(職場)」の視点で安全管理に取り組みましょう

対象	取組のポイント	チェック欄
人	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を維持するため、定期検診を受ける ・体調が良くない時は作業を行わないようにする 	<input type="checkbox"/>
物	運搬車両、農業機械、作業用具等について <ul style="list-style-type: none"> ・日常的または定期的に点検を実施し記録をとる ・不具合があれば速やかに修繕し記録をとる 	<input type="checkbox"/>
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場や施設の危険箇所を確認し安全対策をとる 危険の張り紙や進入禁止柵の設置、不要な物の除去(整理・整頓) など	<input type="checkbox"/>

(上表:愛知県GAPの取組から引用、
下図:農作業安全リスクカルテ(一般社団法人日本農業機械化協会)より)



体調に合わせ
無理な作業をしない



危険箇所の情報共有



通路の凸凹をならす

農作業事故は決して他人事ではありません

□ 平成30年農作業事故調査結果(愛知県農業経営課調べ)

1. 平成30年1～12月に発生が確認された事故総数

県内で確認できた農作業事故は201件(前年196件)発生しています。
【内訳 死亡：2件、重症：18件、中等症及び軽症：177件、不明：4件】

※農作業事故の区分は、重症が入院3週間以上の事故、中等症が入院3週間未満の事故、軽症が入院無しの事故と整理しています。

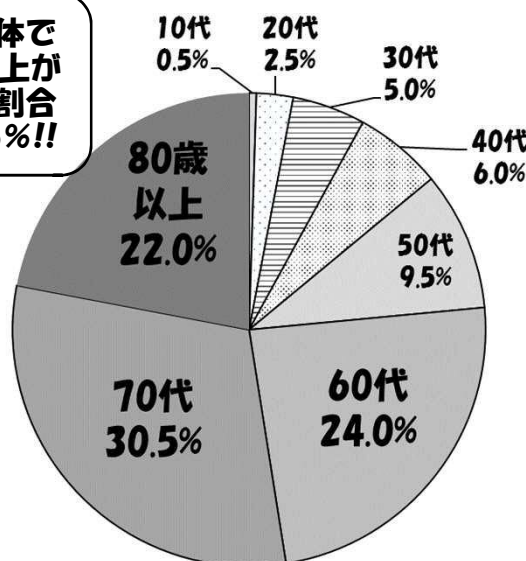
近年発生した主な死亡事故

事例	年齢	発生場所	事故の状況(推定)
1	80代	農場	昼頃から畑で作業を開始し、3時間後に熱中症で倒れているところを家族が発見。休養し一時的に体調は回復したが、その日の夕方に再び意識を失った。 ※事故当日の最高気温は38度(名古屋)
2	80代	樹園地	乗用草刈機を運転中にモモの木に衝突し、乗用草刈機とモモの木の間に挟まれ、心肺停止状態となった。
3	70代	田	路上運転中、T字路を右折した際に、約1.3m下の田んぼに横転下敷きになった。顔面にトラクターが乗っており、心肺停止状態。
4	80代	農道	道路左側約2m下の田んぼへ転落し、トラクターの下敷きになった。
5	50代	ハウス	自宅のビニールハウス内で作業中、耕うん機がバックギアになり、耕うん機と支柱パイプの間に体が挟まれたもの。

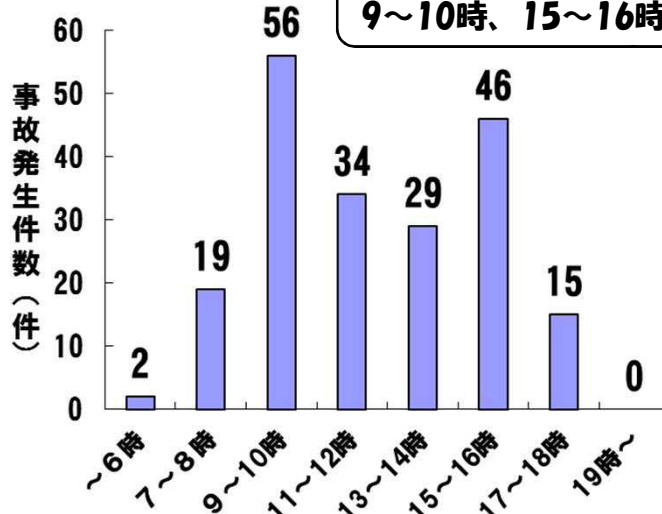
2. 年齢別農作業事故割合

3. 時間帯別農作業事故割合

事故全体で
60代以上が
占める割合
は約75%!!



事故の多い時間帯
9～10時、15～16時



愛知県農業水産局農政部農業経営課 環境・植防グループ

名古屋市中区三の丸3-1-2 (〒460-8501)

電話 052-954-6411 (ダイヤルイン)

FAX 052-954-6931

E-mail nogyo-keiei@pref.aichi.lg.jp